

令和6年度

徳島県の公立高等学校における
「エシカル消費」推進の取組

「とくしまエシカルアクション」プロジェクト

実践報告集

令和7年3月

徳島県教育委員会

徳島県の公立高等学校における 「エシカル消費」推進の取組について

現在、より良い社会の実現に向けて、人や社会・環境に配慮した消費行動である「倫理的消費」（エシカル消費）への関心が高まっています。

徳島県教育委員会では、「『とくしまエシカルアクション』プロジェクト～広げる、つなげる、「エシカルクラブの環」推進事業～」の取組等を通して、「エシカル消費」の普及・啓発を図るとともに、持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動することができる消費者力の育成を目指しています。

なお本事業は、消費者庁「令和6年度消費者行政強化交付金」を活用しています。

広げる、つなげる、「エシカルクラブの環」推進事業

県内すべての公立高校に「エシカル消費」を研究・実践する組織「エシカルクラブ」を設置しています。

〈実施ステージ〉

①スタンダード校

これまでの実践をベースとし、「エシカル消費」を推進する取組を継続するとともに、その成果を広く発信する。

②アドバンス校

エシカル消費について、他校種や地域と連携した活動、GIGAスクール構想等を活用した海外との交流等、新しい発想で、県内の高校を牽引する先進的な取組を進める。各種コンテストや全国大会等への積極的な応募、SNSを使用した発信など、その成果を広く普及する。

* エシカル消費の例として、障がい者支援につながる商品等の消費、フェアトレード商品や寄付付きの商品等の消費、エコ商品、リサイクル製品、資源保護等に関する認証がある商品等の消費、地産地消、被災地産品の消費、エシカルファッションの推進、食品ロス削減の取組などがあげられます。



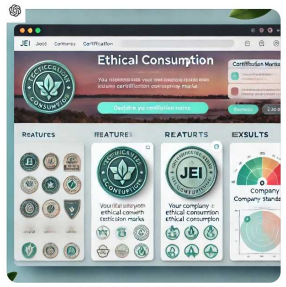
アドバンス校の取組

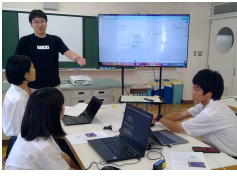
城東高等学校	3
城ノ内中等教育学校	4
城西高等学校	5
城西高等学校神山校	6
那賀高等学校	8

スタンダード校の取組

城南高等学校	9
城北高等学校	9
徳島北高等学校	10
徳島科学技術高等学校	10
徳島科学技術高等学校定時制課程	11
徳島商業高等学校	11
徳島中央高等学校定時制課程夜間部	12
徳島中央高等学校定時制課程昼間部	12
小松島高等学校	13
小松島西高等学校	13
小松島西高等学校勝浦校	14
富岡東高等学校	14
富岡東高等学校定時制課程	15
富岡東高等学校羽ノ浦校	15
富岡西高等学校	16
阿南光高等学校	16
海部高等学校	17
鳴門高等学校	17
鳴門高等学校定時制課程	18
鳴門渦潮高等学校	18
板野高等学校	19
名西高等学校	19
名西高等学校定時制課程	20
吉野川高等学校	20
川島高等学校	21
阿波高等学校	21
阿波西高等学校	22
穴吹高等学校	22
脇町高等学校	23
つるぎ高等学校	23
池田高等学校	24
池田高等学校定時制課程	24
池田高等学校辻校	25
池田高等学校三好校	25
徳島市立高等学校	26

とくしま・エシカル高校生委員会の取組	27
--------------------	----

実践校	徳島県立城東高等学校
研究テーマ	高校生は「エシカルウォッシュ」に対抗することができるのか？ ～デジタル社会に必要な「エシカルに『気づく』力」を探究する～
1 目指す生徒像	○ 「Think Globally, Act Locally.」の精神で世界的な視野に立ってエシカル消費を捉え、身近なところから行動を起こすことのできる生徒 ○ 「つかう責任」の立場からエシカル消費の普及・啓発に積極的に取り組み、消費者市民社会の実現のためのリーダーとなる生徒
2 実践の内容	（１）ChatGPT の活用 ・ 認証マークの分析 ・ 消費行動の分析 ・ 購入元企業の分析 上記の３つの検証をとおして、AI は私たちがエシカル消費に「気づく」有効なツールになると考察し、アプリのイメージをデザインした。 （２）企業等と連携した取組 ・ エシカルファッションスタンプの完成とPRスタンプの販売（徳島県地球温暖化防止学生推進員・就労支援センターハーモニーとの連携） ・ 奥能登しおサイダー×藍パウダーのサイダー試飲による被災地応援（石川県企業・徳島県企業から購入） ・ 制服回収ボックスのリニューアル（学生服リユース協会との連携） （３）エシカルインフルエンサーとしての取組 ・ 消費者志向経営等啓発動画への出演（徳島県消費者政策課との連携） ・ 阿波の狸まつりへの出展 ・ 中高生探究の集いへの出場 ・ SNSアカウントの運用 アプリのコンセプト 1. 認証マークの分析機能 ・ 画像アップロード画面：直感的なインターフェースで、画像をドラッグ＆ドロップやカメラでキャプチャ可能。 ・ 結果表示画面：認証マークをハイライトし、その詳細情報をポップアップやサイドバーで表示。 2. 行動のエシカル評価機能 ・ 入力画面：行動内容を簡単に入力できるフォーム。 ・ 評価結果表示画面：エシカル評価結果をスコアやアイコンで視覚的に表示し、関連性を説明。 3. 企業のJEIエシカル基準評価機能 ・ 企業検索画面：企業名を入力する検索バーとオートコンプリート機能。 ・ 評価結果表示画面：JEIエシカル基準に基づく企業評価を、インフォグラフィックやレーダーチャートで視覚的に表示。 ChatGPTで作成したWebアプリデザイン（案）    https://www.pref.tokushima.lg.jp/sdgs.ethical.town/social-tour/go-to-school/joto-hs/ エシカル消費自主宣言 令和7年2月～ 私たちは、「とくしまエシカル宣言」の主旨に賛同し、エシカル消費の普及推進に取り組むことを目的に、以下の「エシカル消費自主宣言」を行います。 ★ 城東高校は、学校全体を「エシカルクラブ」として位置付け、「Think globally, act locally.」の精神で、 ★ 企業との連携を通して、身近にできる「エシカルしている」実践をともなった取組 ★ 国際交流を通して、校内外における環境に配慮した消費行動への意識の啓発を促す取組 ★ 県内外でのさまざまなイベントへの参加を通して、エシカル消費を普及・啓発する取組 を推進し、国内外で消費者市民社会の実現に向けて貢献できる、高い志を持った「グローバル人材」に必要な力を育成することを目指します。 今後とも、さまざまな取組を行いますので、よろしくお願いいたします。
3 実践の成果	○ 読売中高生新聞（令和7年1月10日発行）への掲載 ・ 読売中高生SDGs新聞の紙面にエシカルクラブの取組が紹介 ○ エシカル甲子園への出場（3年連続） ・ エシカル甲子園優良団体賞／エシカル甲子園特別賞／奨励賞の受賞 ○ エシカル消費自主宣言の実施 ・ 学校全体でエシカル消費に取り組むきっかけ

実践校	徳島県立城ノ内中等教育学校
研究テーマ	広げる、つなげる、「エシカル消費」推進プロジェクト ～+1 ハピ Get a little bit Better みんなにもうひとつのハピネスを～
1 目指す生徒像 ・ 「自分事」としてエシカル消費を捉えるとともに、「エシカル消費」を主体的に推進しようとする態度を身に付ける。 ・ 体験や学びから得た知識を課題解決へと結びつけ、「エシカル消費」の認知度の向上を目指して発信する力を身に付ける。 2 実践の内容 (1) 地域活性化プロジェクト 4年次を中心に徳島の現状や課題をデータ分析し、徳島を元気にする、徳島の未来をよりよくする政策アイデアを考える「地域活性化プロジェクト」を実施した。人口・観光・産業の分野を選んで研究活動を行い、成果については文化祭での展示やポスターセッション等で共有した。「地域への配慮」について考える機会にもなった。 (2) 文化祭「エシカール展」開催 文化祭では家庭クラブと合同で「エシカール展」を開催した。前述の地域活性化プロジェクトのポスター展示やエシカル消費啓発ポスターの展示、自分たちが行っているエシカル消費行動を書いてエシカルツリーの葉にする「エシカル宣言の木」ワークショップやユネスコ世界寺子屋運動等の紹介を行い、エシカル消費の啓発を行った。 (3) エシカル消費の普及・啓発アプリ開発に向けて エシカル消費について学ぶことができるアプリの企画・制作を行っている。ゲームアプリにすることで誰もが簡単に、楽しくエシカル消費に向けた意識改革や行動の変容ができること考える。「Ethicaleaf」制作でお世話になった地元企業の方を講師として招聘し、アプリの実用化に向けて取り組んだ。 (4) しじら織の端布（ハギレ）活用 しじら織の端布を使い、ポケットティッシュケースの製作を行った。製作時に阿波しじらや太布、藍染めについても知識を深めることで、地元の特産品を身近に感じてもらう機会とした。また5Rや廃物削減の方法を考える機会にもなった。  【地域活性化プロジェクト】  【エシカール展】  【啓発アプリ開発】  【端布活用】 3 実践の成果 「自分たちが今できることは何か？」を考えて研究活動を行うことで、エシカル消費に関する知識だけではなく実践力を身に付けることができた。校内で活動を行うだけでなくイベントに参加する等、個人やグループ活動を積極的に行う生徒が増えた。小さなことでも一人一人がエシカル消費について考え、実践することで「意識改革」を図るとともに、「持続可能な社会」を形成する力を付けていく。	

実践校	徳島県立城西高等学校
研究テーマ	城西高校ならではの連携でムダをなくし、エシカル消費に取り組む～持続可能な社会の扉を開き、みんなで一歩ずつ前へ進もう～
1 目指す生徒像 農産物販売所「そよかぜ」の販売活動を通してエシカル消費への理解を深め、「エシカル消費」や「SDGs」を啓発できる生徒を目指す。 2 実践の内容 (1) 校内農産物販売所「そよかぜ」を、高校生と地域をつなぐエシカル消費啓発の拠点として運営した。 ①「地産地消」・「旬産旬消」として、校内農場で生産・収穫した季節の農産物や加工食品の販売で「地域」「環境」に配慮したエシカル消費の啓発を行った。 ②廃棄されるイチゴをジャムに加工し、イチゴシフォンケーキの原料として「フードロス削減」や「規格外農産物の有効利用」のエシカル消費の啓発を行った。 ③障がい者福祉事業所と連携し、加工食品や野菜の販売を通して、「福祉と地域」の相互理解を深めた。 ④フェアトレード認証商品の販売や、生徒制作のフェアトレードポスターなどを掲示する実践を通してフェアトレードの理解を深めた。 (2)「城西カステラ」を県産の「米粉」や「和三盆」「はちみつ」を利用して試験製造した。徳島県産の米粉や和三盆糖・はちみつを原料として使用することで、地産地消というエシカル消費の実践を行った。 (3) エシカル消費や SDGs を実践している事業者等から、現状や将来展望について講演をいただき、次年度への展開を考えた。    【地産地消そよかぜ販売所】 【フェアトレード認証商品】 【柚子っ子三澤さん講演】 3 実践の成果 今年度は、農産物販売所「そよかぜ」を 19 回開催できた。また、「フードバンクとくしま」や「子ども食堂」と連携したフードロス削減の取組ができた。さらに、フェアトレード認証商品の販売など、エシカル消費啓発活動を進化させることができた。農産物販売所「そよかぜ」には開催ごとに 80 人ほどが来店し、地産地消農作物や生徒たちが企画した商品を購入していただいた。 本校エシカルクラブの代表生徒 4 名が、「とくしま・エシカル高校生委員会」の委員として、エシカル甲子園の運営など、さまざまなイベントに参加した。校外でのイベントでは他校の生徒との交流を通して、自分たちの活動の評価が高いことを実感でき、自信にもつながった。 今後は、本校生徒全体へのエシカル消費推進の拡大を目指したい。校内の生徒会活動や部活動などと連携し、学校全体でエシカル消費啓発活動をしていきたい。	

実践校	徳島県立城西高等学校神山校
研究テーマ	「エシカル消費ってなんえ！？」と聞く人をゼロに ～神山町での取組発信を通じて～
1 目指す生徒像 学校の所在する神山町を学びのフィールドにして地元素材の有効活用をコンセプトに様々な取組から「SDGs」や「エシカル消費」を発信していきたい。また、現在開拓中の耕作放棄地（通称まめのくぼ）を地域の憩いの場として活用し棚田や里山の持つ多面的機能についても理解し、持続可能な社会構築の形成に寄与できる人材の育成を目指す。 2 実践の内容 （１）「まめのくぼ」プロジェクト ①「まめのくぼ」を整備し、長年にわたり神山町で受け継がれてきた在来小麦（神山小麦）やソバの栽培を行い、「シードバンク」としての役割を果たしてきた。今年度は、サツマイモやトウガラシなど栽培品種を増やすとともに、栽培面積を拡大して、収量を大幅に増やすことができた。サツマイモは地域の保育園の園児とともに苗の定植と芋掘りを行い交流を図った。地元の園児に「まめのくぼ」を知ってもらう絶好の機会となった。 ②「まめのくぼ」に隣接するスギ林において伐木実習を実施した。継続的に間伐を行うことでスギ林の環境改善につながっている。また、災害時の火力として使用できるよう薪に加工し備蓄している。このような活動から今後も神山町の掲げる「神山森林ビジョン」に貢献していきたい。 ③石積みの継続的な実施により、崩れた石垣の修復も進んだ。また、今年度で２回目の開催となる「石積み甲子園」では、生徒の石積み技術が向上し、準優勝の成績を収めた。 ④「まめのくぼ」に地域の方々を招き、「まめのくぼの集い」「まめのくぼの散策会」「まめのくぼでツリーを作るワークショップ」を開催した。地域の方とともに「まめのくぼ」を再発見したり、これまでとこれからについて話をしたりと交流を通して生徒にとっても良い刺激となった。  園児との芋掘り  神山小麦の収穫  石積み甲子園 （２）「地域の恵みを活用」 ①県内産の規格外ニンジンや「まめのくぼ」で収穫したお茶、県内産ビーツを使用してクッキーのレシピ開発を行った。小麦粉には 50 %神山小麦を使用し、地産地消や規格外品の活用といった「エシカル活動」につながる商品となった。製造は、福祉施設に依頼することで農福連携も実現している。 ②地元のスギやヒノキの間伐材を使用したアクセサリーの製作活動を行った。専門家のご指導をいただきイヤリングやネックレス、キーホルダーなどを作製した。木の温かみを感じるとともに、新たな間伐材の活用方法としても発信していき、商品化を目指したい。また、学校祭ではドングリや松ぼっくりを利用して子どもたちに無料で木工体験をするなど木育活動も行った。 ③神山町産や規格外品を原材料に使用した「神山たっぷりレトルトカレー」を商品化した。ルー作りから行い、神山小麦も配合した。具材の調達には、神山町内の農業法人に協力を呼びかけ、規格外品をいただけないか交渉を行った。商品開発に関わった生徒は、商品化	

の苦勞を感じただけではなく、生産者との交流の中でその人たちの思いに触れ、一次産業の大切さにも気づくことができた。



エシカルをテーマにした加工品



学校祭でも木育活動

(3) 情報発信

① 県内外でのイベントで販売を行い、販売を通じた取組発信に取り組んだ。県内では、高校生産フェスや食育推進全国大会プレ大会、エシカルマルシェなどに出品した。県外では、11月に東京で行われた「全国 HANASAKA 収穫祭」に参加し、全国の高校生と交流も深めることができた。情報発信だけでなく、販売中に商品や取組について質問されることが多く、生徒はその度に考え、取組について振り返ることができた。

② 12月に東京ビッグサイトで開催された「エコプロ 2024」に出展した。教育機関をはじめ、企業や NPO 法人など様々なステークホルダーとの交流を通して、「まめのくぼ」の取組に対する新たな視点からのアイデアなどいただくことができた。



HANASAKA 収穫祭



エシカルマルシェ



エコプロ 2024

(4) 各種認証の取得

① 「まめのくぼ」での神山小麦栽培について、地域の農業法人と連携し、「有機 JAS」を取得した。

② 「まめのくぼ」での生物多様性に配慮した栽培管理や景観保全活動が評価され、教育機関として初めて「とくしま生物多様性認証制度（レベル1）」の認証を取得した。

③ 「まめのくぼ」で収穫したトウガラシ、学校で収穫したスダチ果皮、徳島県産の食塩のみで作ったスダチ胡椒（ゆず胡椒をイメージして商品化した加工品）が「とくしま特選ブランド」に認定された。

3 実践の成果

まめのくぼの整備は、継続して行っており、周辺の除草や石積みの進行、スギ林の間伐などにより以前とは見違えるような景観になった。この活動が地域の風景を作り、生徒たちの学習の成果として残り、そこから持続可能な社会形成や守ってゆくべき姿が見えてきたことは大きな成果であった。

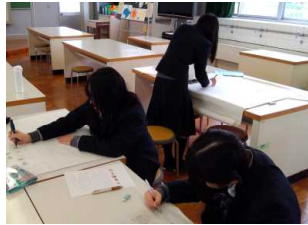
これら取組をコンテストで発表する機会も多く、第 75 回日本学校農業クラブ四国大会ではプロジェクト発表会分野Ⅱ類で優秀賞を、第 4 回ローカル SDGs 四国表彰では、審査員特別賞を受賞した。取組が評価されることで生徒の活動への意識が変わり、より前向きに自信を持って取り組む姿が印象的であった。

今年度は、情報発信を 1 つのテーマに掲げ、イベントへの参加や SNS による発信を行ってきた。様々なステークホルダーとの交流を通して、自分たちの取組を改めて振り返ったり、新たな視点から取組を振り返ったりすることができていた。経験を積むごとに学び、成長する生徒の変容から次年度以降への可能性を感じることができた。

実践校	徳島県立那賀高等学校
研究テーマ	「想い」を未来へつなぐ ～那賀高から広げるサステナブルファッション～
1 目指す生徒像 限られた資源を大切にしようとする意識を涵養するとともに、エシカル消費を通して環境に配慮した生活が「ふつうごと」となるよう若者文化の中に醸成していくことを目指す。 2 実践の内容 (1) 不要となった衣服に第二の活用場を与え、新たな息吹を吹きこむ活動「服活」 ①各種イベントで約 4,500 枚の衣服を譲渡することができた。また、毎月 29 日を「服」の日とし、校内服活を行いサステナブルファッションの啓発を行った。 ②「衣」と「食」の関連性から、フリースクールと高齢者施設・美術館・スポーツジムに服活コーナーを設置し、服の循環を啓発した。高齢者施設では、フレイル予防にもつながっている。 ③古着を提供することでポリオワクチンの予防接種につながる「古着 de ワクチン」に参画し、国際支援活動に取り組んだ。また、今年度はこの活動を通して能登復興支援にも携わっている。 (2) サステナブルファッション広報活動 ①県外のイベントに積極的に参加することにより関連企業とのつながりを構築でき、情報交換から今後の活動ヒントを得ることができた。 ②SNS や学校 HP を活用し、県内外の多種多様な業種の方に広報することができた。 (3) 縦のつながりを強化 ①連携中学校（鷺敷・相生・木頭）と SDGs をテーマに合同研修会を行った。 ②四国大学を訪問し、「エシカル出前授業」を行った。また、芳藍祭で服活ブースを設け、大学生と共にサステナブルファッションの啓発を行った。今後も、高大連携の実践の場として活動していく計画である。 (4) 地域の恵みを活用 地域と連携し、那賀町の特産品（相生晩茶・木頭柚子）の広報に努めた。また、地元の方の協力により授業を通して郷土食（かきまぜ・はんごろし・ジビエ）の調理や試食する機会を得た。     【四国大学出前授業】 【イオンエコリンクランプリ】 【HOP 協賛イベント】 【循環フェス】 3 実践の成果 「服活」に取り組む中で、モノを大切に扱う気持ちやバイコットを行うようになった。また、県内外に活動の幅を広げたことにより、多方面のエシカル活動を知り感銘を受け、柔軟な考え方ができるようになった。今年は『縦のつながり』を強化したことで、高校三年間の活動にとどまることなく今後も続けていける場を構築することができた。食の面では、相生晩茶を商品化したことで、地域外の方に手に取っていただき地域の魅力を広報することができた。今後もさらに、次世代を担うリーダーとして地域社会や環境に配慮できる人材となれるよう取組を深化させていきたい。	

【スタンダード校】

実践校	徳島県立城南高等学校
研究テーマ	阿波、その魅力を
1 主な取組内容 (1) エシカル標語の作成。「お残しも 誰かにとっては命綱」(フードロスに関する標語の一例) (2) エシカル消費について考え、地域に配慮した消費について学びを深めた 1 年生が、阿波和紙で全校生徒分のポチ袋を作った。75 回続く本校の伝統行事「祖父母の会」において、家に持ち帰り祖父母に贈るためのものである。“ポチ袋を大切な人のために使ってもらおう”を合い言葉に、阿波和紙のポチ袋に阿波和紙で作った趣向を凝らした水引を施し、心を込めて制作した。  【ポチ袋 1】  【ポチ袋 2】  【ポチ袋 3】  【ポチ袋 4】 2 実践の成果 阿波和紙は、県内においても藍染めや大谷焼のような派手さはないが、徳島が誇る未来に繋げるべき、伝統工芸品である。生徒たちはその歴史を学び、実際に触れて質感を感じながら作品を制作することで、脈々と受け継がれてきた歴史の重みや和紙の素晴らしさを体感することができた。小さな紙の切れ端も無駄にすることなく大切に扱う生徒たちの姿は、和紙愛に溢れ、大変愛おしく感じられた。ふるさと阿波徳島を大切に思い、その未来に心を寄せてくれたものと信じている。	

実践校	徳島県立城北高等学校
研究テーマ	和食について
1 主な取組内容 (1) 和食の特徴や種類について調べる。 (2) 鰹だしを使った和食をいくつか作る。  【和食づくりの様子】  【和食】  【ポスター制作の様子】 2 実践の成果 身近な食として、私たちの日常のなかに存在している「和食」は、2013 年 12 月にユネスコ無形文化遺産に登録されており、日本で暮らす私たち共有の財産といえる。近年増加しているインバウンド来日の大きな目的として「和食」を楽しむことがある。世界的に人気が高まっている「和食」の価値を、本活動を通して認識することができた。	

実践校	徳島県立徳島北高等学校
研究テーマ	Kitako Ethical Project ～羽ばたけ北高生 持続可能な未来の実現に向けて～
1 主な取組内容 (1) 障がい者及び能登半島地震被災地等支援活動 能登半島地震被災地等支援バザー実施。障がい者福祉サービス事業所で製造された商品を販売し、収益金を寄付。 (2) 食品ロスの削減 子ども食堂運営ボランティア活動。世界食料デー協賛団体の実施する「おにぎりキャンペーン」活動参加。 (3) 環境保全への取組 代替肉である大豆ミートを活用したエシカル料理講習会の実施。「ハブラシリサイクルプログラム」に参加し、使用済みハブラシ回収。	
2 実践の成果 子ども食堂運営ボランティアに参加し、廃棄予定の野菜を使って調理をしたり、クリスマスには不要になったクリアファイルを使用したクリスマスツリー作りを企画し、子どもたちと製作することにより、地域と共にエシカル消費に結びついた行動をすることができた。石川県の障害者福祉サービス事業所が製造した商品の学校祭での販売は、来場者の関心も高く短時間で完売した。生徒は、人々の意識の高さと善意の心に感銘を受け、自らの意思と責任に基づいて主体的に行動することの大切さを認識することができた。また、「世界食料デー」における「おにぎりアクション」に参加し、各クラス50食分の給食を寄付した。世界の食料問題や飢餓、子どもの貧困について考え、自分たちができることを行動に移そうとする姿勢や行動できた達成感が見られた。様々なエシカル活動をとおして、生活の環境への影響について考え、人や社会に配慮した消費行動（エシカルなライフスタイル）を社会の課題と自らの暮らしに結びつけ、新たな価値観や行動を起こそうとする態度が養われた。	



実践校	徳島県立徳島科学技術高等学校
研究テーマ	持続可能な社会の実現を目指して ～ Think Globally, Act Locally ～
1 主な取組内容 (1) 各企業や姉妹校など、プラスチック削減に向けての世界中の取組事例をまとめ、掲示した。 (2) エシカルクッキング講習会「食品ロスについて考える」 残り物から、端っこチャーハン、ベジブロススープ、そうめんチヂミ、カボチャのまるごとプリンを作った。 (3) 不要布からタブレットケース、洗剤のいらないアクリルたわしを製作した。	
  	
2 実践の成果 エシカル消費を、無駄をなくし、地球に優しい取組の面から考えた。活動のたびに、一人一人の小さな積み重ねが、変化をもたらすきっかけになることに気づいた。	

実践校	徳島県立徳島科学技術高等学校 定時制課程
研究テーマ	「エシカル消費を知る」・「環境や3Rを考慮したエシカルものづくり」
1 主な取組内容 (1) ①食と農の持続を学ぶ・・・「淡路島牛乳工場」見学・酪農体験 ②再生可能エネルギーを学ぶ・・・「南あわじウインドファーム」見学 (2) 循環型社会の実現に向け、環境や3Rを考慮した「エシカルものづくり」 ①空き缶のリサイクルとして「加圧式アルコールバーナー・ランプ」の制作 ②廃材のリサイクルとして「写真立て、一輪挿し等」の小物制作  【淡路島牛乳工場】  【酪農体験】  【廃材活用の小物】  【ランプ】 2 実践の成果 学習や見学、さらにエシカルを意識したものづくりを通して、エシカル消費に関する理解と実践力を深めることができた。	

実践校	徳島県立徳島商業高等学校
研究テーマ	世界の課題を自分ごととして捉え、課題解決に取り組もう
1 主な取組内容 (1) SDGs の考え方を取り入れた学習 ・地域の特産品を使った商品を企業とコラボして開発し、「徳商デパート」として販売実習を行った。 (2) 地産地消を推奨し食品ロス削減を目指す活動 ・エシカル料理講習会 ・米粉料理の実践 (3) 被服実習の余り布を使って、教室のカーテンのタッセル制作  【徳商デパート】  【エシカル料理講習会】  【米粉にんじんシフォン】  【余り布でタッセル制作】 2 実践の成果 学校 SDGs について学んだり実践した経験から、自らの生活を見直し、課題解決のためにできる行動を考え、取り組もうとする主体的な態度が見られるようになった。	

実践校	徳島県立徳島中央高等学校 定時制課程夜間部
研究テーマ	日常生活の中に取り入れることができるエシカル消費を研究する。
1 主な取組内容 (1) エシカルクッキング 夜間部エシカルクラブによるエシカルクッキングでは、地産地消をテーマにしたメニューを考えて調理した。今年度はエシカル餃子及びエシカルキーマカレーを生徒、保護者、教員で作ることによってエシカル消費について一緒に学んだ。 (2) 文化祭での展示とオリジナルエシカルバッグの配布 総合的な探究の時間に準備した展示物を文化祭で展示し、多くの人への普及・啓発活動を行った。展示物の一つであるオリジナルエシカルバッグは、エシカル消費に関心を持ってくださった方々へ配布した。   	
2 実践の成果 生徒、保護者、教員を交えてのエシカルクッキングが恒例行事となってきた。さらに夜間部生徒と教員でのエシカルクッキングは回数が増え、生徒からの提案や要望も多くなり、エシカル消費への意識の高まりを実感している。また、自ら作ったエシカルバッグを日常生活で使用する生徒も増えてきた。	

実践校	徳島県立徳島中央高等学校 定時制課程昼間部
研究テーマ	徳島県の伝統工芸品から学ぶ、地域に配慮した消費
1 主な取組内容 (1) エシカル消費について学び、私たちが地域に配慮した消費を意識して行動することが重要であり、地域の発展につながることを知る。 (2) 阿波和紙、阿波しじら織り、大谷焼について学び、知識や興味を持つ。 (3) 徳島県の伝統工芸品を使ってさまざまな作品を制作し、より理解を深める。 ①阿波和紙を用いて、張り子飾りを制作した。 ②阿波しじら織りの歴史や構造等を理解し、それをもちいたヨーヨーキルト飾りとリース飾りを制作した。 ③大谷焼の特性等について知り、素焼き皿にオリジナルの図柄を絵付けし、ひとり1枚大谷焼絵皿を制作した。 ④12月初旬にエシカル週間を設定し、制作物等を展示した。また、その取組を校内で PowerPoint を用いて発表した。 2 実践の成果 徳島県の伝統工芸を用いた作品を制作することで、自分の住む地域について興味関心が高まったように思われる。継続した活動をしていきたい。   	

実践校	徳島県立小松島高等学校
研究テーマ	地産地消とリサイクル活動 ～身近なことから取り組むエシカル消費～
1 主な取組内容 (1) 地産地消の取組 ① 地元の食材を使用した調理 地元特産の米粉や野菜や果物を使用したパンケーキや雑炊などを調理した。 ② ZOOM による全校一斉食育 HR 活動 食品ロス削減をテーマとし、食品ロス削減の知識を身に付けた。【地元の米粉の調理】 ③ 地元野菜の消費啓発ポスターの制作・掲示 (2) リサイクル活動 ① 着用しなくなった衣類のリサイクル 不用衣類をカフェエプロンにリフォームした。 ② 不要になったハギレを活用した小物の製作 ③ 小松島金長狸まつりに参加 2 実践の成果 エシカルに関する研究を行うことにより、エシカルを身近に感じることができ、自分たちの消費行動を見直すことができる。	



【リフォーム作品】

実践校	徳島県立小松島西高等学校
研究テーマ	4 学科が取り組む「エシカル普及活動」 ～学科の学びをエシカル活動に発展させよう！～
1 主な取組内容 福祉科 2 年生（25期生）は、23日間お世話になった施設の皆様へ感謝の気持ちとしてのお礼の品を「エシカル消費」の視点から考え、阿波和紙・藍染めに注目した。 県の特産品である阿波和紙を用いて袋を作り、思い思いの和紙を組み合わせて彩った。さらに本校生活文化科の授業で不要になった藍染めの生地を譲り受け、小物を作り飾った。その中に講師を招いて作ったフラワーアレンジメントを入れて贈ることにした。 2 実践の成果 お世話になった方への感謝の気持ちを込めてのこの作業を通して、「阿波和紙」「藍染め」という徳島の伝統文化の継承やリサイクル素材の活用による環境への配慮、持続可能な社会のあり方についても考えることができた。些細なことだが、エシカル消費につながったのではないかと思います。これからもエシカル消費について学び、行動していきたい。	



実践校	徳島県立小松島西高等学校 勝浦校
研究テーマ	持続可能な学校づくりⅤ ～地域とのパートナーシップを目指して～
1 主な取組内容 (1) 廃棄処分の着物と校内で栽培された野菜等を使用した草木染めの布を組み合わせ、地域の婦人会で活動をされている方と共に小物を制作し、お接待や地域食堂、収穫祭での来場者の方々に配布し、SDGsへの呼びかけを行った。 (2) 学校にある規格外の野菜を使用し、ビーガンカレーを地域ボランティアの方と協同開発をし子ども食堂にて提供したり、ワークショップを開催したりした。	
  	
【地域の方との交流】 【古着物の利用】 【子ども食堂での活動】	
2 実践の成果 生徒は地域の方々や子どもたちなど異年齢の方々とコミュニケーションを取る機会が増えたことで自尊心が高まり、地域のサポーターとしての自覚も芽生え始め、様々な校外活動に積極的に取り組む姿勢が見受けられるようになった。	

実践校	徳島県立富岡東高等学校
研究テーマ	徳島を元気にしよう！
1 主な取組内容 (1) 企業等と連携した、エシカル消費を理解するための出前授業 ①地元和菓子店の和菓子製造一級技能士の方を講師とした、「ねりきり」作り体験 ②地元業者で製造した、あんこを材料にした和菓子作りによる、地域の食文化の継承 (2) 啓発活動 一般公開された富東祭で、学校家庭クラブ、ESD委員、エシカルクラブが協力し、リメイクしたエコバッグや傘のリユースについてポスターを作成し、展示啓発をした。	
2 実践の成果 企業等と連携し、地元で製造された材料を使った食文化を実践的に体験し、地域の食文化継承の一助を担うことができた。学校行事等で、地域の方や保護者等が多く来校する機会を利用し、生徒の様々な取組を紹介することができた。生徒は身の回りの不要品活用について考える力を持つことができた。	
 	
【利用啓発】 【リユース傘】	

実践校	徳島県立富岡東高等学校 定時制課程
研究テーマ	Think Ethically、Act Glocally. エシカルな視点を持ち、グローバルに行動する。
1 主な取組内容 (1) 全校調理実習において、地産地消がフードマイレージを小さくし、エシカル消費につながることを学ぶ。 エシカル消費について代表生徒からのプレゼンテーションを聞く。 (2) 授業でコラボ ① 2～4年生「総合的な探究の時間」の「教養」コースで、「エシカル消費」普及・啓発のポスターを作成する。 ② 国語・地歴・理科において、エシカル消費について学び、エシカルクラブの活動の一つとして、植物由来プラスチックの有用性を伝える動画を作成する。	
2 実践の成果 【代表生徒によるプレゼンテーション】 (1) 「倫理的消費」（エシカル消費）についてより深く探究し、知識に加えてプレゼンテーション能力を高めるとともに、日々の生活を見つめることがよりできるようになった。 (Think Ethically)  (2) 植物由来プラスチックを材料としたレジ袋生産者による講演会を開催し、購入・文化祭等で配布する活動などを通して、エシカル消費やSDGsに関する実践力を高めることができた。(Act Glocally) 【エシカルクラブモバイル版啓発動画】	

実践校	徳島県立富岡東高等学校 羽ノ浦校
研究テーマ	自分たちにできることを考える ～ Utilize for nursing ～
1 主な取組内容 (1) 不要布を使用したつまみ細工のチャームを製作し、阿南支援学校に贈呈した。 (2) 地域の有用な人材を活用し、地産地消をテーマに出前授業を実施した。 (3) 神山の「Food Hub Project」の理念を学び、現地研修を実施した。	
 【つまみ細工】  【ニッキ風味柏餅】  【Food Hub Project】	
2 実践の成果 地域でとれた野菜等を消費することで「関係性」を育てる“Food Hub Project”の理念を学び、地域に密着した活動の重要性を実感できた。また、これまでの取組を基盤に一人一人が地域と共に未来を育む思考を身に付け、次の世代を牽引する主体としての生き方の方向性を見出す良い契機になったと考えている。	

実践校	徳島県立富岡西高等学校
研究テーマ	私たちが創る未来～持続可能な社会をめざして～
1 主な取り組み内容 地域特産の食材に注目し、食品ロスなどに配慮したレシピを考える。 今年度は米粉に焦点をあて、クッキー、シフォンケーキ、団子などのおやつ作りに取り組んだ。  【調理実習の様子】  【持ち帰る場合は容器を持参】 2 実践の効果 生徒は食と地域のつながりを学び、地産地消や食品ロス削減の重要性を実感した。環境負荷の軽減やエシカル消費への意識が高まり、持続可能な社会への貢献を考える力が養われた。さらにレシピ開発を通して創意工夫や、協力して取り組むことで協調性やコミュニケーション力が向上した。加えて、グルテンフリーなどの食の多様性を学び、誰にとっても優しい食のあり方を考えるきっかけとなった。	

実践校	徳島県立阿南光高等学校
研究テーマ	エシカル消費生活
1 主な取組内容 英字新聞や新聞折込の情報誌を活用して、おしゃれなエコバッグの作成やコンビニ弁当が入るサイズの布製エコバッグを製作し、文化祭で販売しています。また、余り布を活用した小物作りにも取り組み、文化祭で展示を行いました。 2 実践の成果 以前から継続しているエコバッグづくりは生徒に定着しており、先輩から後輩へ作り方を伝えたり、生徒自身が工夫をして改善することができるようになっています。今後は、余り布を活用した小物作りも定期的な活動として取り組み、エコバッグのように生徒が自ら提案し、工夫・改善していけるような活動にしていきたいと考えています。  【布製エコバッグ】  【余り布を活用した小物】	

実践校	徳島県立海部高等学校
研究テーマ	海部高校×SDGs～エシカル消費で資源を循環しよう！～
1 主な取組内容 (1) 段ボールコンポストの活動を通して生ゴミの減量化 (2) 余り布で小物製作・文化祭での販売・ポスター掲示 (3) 海部郡でとれた食材を使用した調理実習 2 実践の成果 (1) 調理実習の生ゴミを堆肥に変え、生ゴミの減量化に努めた。 何気なく捨ててしまっている生ゴミがコンポストを通して堆肥へと変わり、その堆肥で野菜を育てることで資源の循環につながるということや、食品ロスについても考えるきっかけとなった。 (2) 余り布を作品として生まれ変わらせることで新たな価値を見だし、生徒の裁縫技術の向上や、SDGsの目標12などへの関心も高まった。販売を通して、生徒だけでなく地域にもエシカル消費を広めるきっかけとなった。ポスター作成を通して自分のできる活動についても考えることで、実生活へと繋げる意識が生まれた。 (3) 地域の伝統的な食文化に触れ、調理を通して地元の魅力を再確認し、郷土料理や地域の特産品などにも関心を持つことにつながった。地産地消を行うことによるメリットについて学び、栄養面だけでなく環境面の影響についても考えることができた。	



【コンポスト】【販売の様子】



【調理実習】

実践校	徳島県立鳴門高等学校
研究テーマ	エシカルコンシューマーをめざして ～持続可能な未来を～
1 主な取組内容 (1) 鳴門高校文化祭において 鳴門市とコラボし、フードポストを設置した。1,058点の食品を寄付していただいた。 (2) 外部講師を招いてエシカル講習会 日本の伝統的な調味料である麹やうま味について考え、保存性を高めることで食品ロスにつなげることを学んだ。 (3) エシカルクッキング 金柑をジャムにして、パウンドケーキやヨーグルトムースを作り、身近にある食品の活用を考えた。 (4) エシカルハンドメイド ハギレを活用するため刺し子の技法を習得した。 2 実践の成果 地球規模での持続可能な循環型社会をめざす取組に参加したという経験を自信につなげ、生徒自身が生活を営むときに「地産地消」や「食品ロス削減」「伝統文化の継承」などSDGsを価値判断の基準のひとつとして捉えることができた。	



【出張！フードポスト】



【エシカル講習会】



【エシカルクッキング】

実践校	徳島県立鳴門高等学校 定時制課程
研究テーマ	エシカル消費を意識することで社会的課題についての興味関心を持ち身近な課題を解決するための技術を習得する。
1 主な取組内容 (1) 技術の習得 裁縫や調理を通して基本的な技術の基礎を学ぶ。 (2) 地産地消 徳島の地域食材である、「阿波尾鶏」「あわそだち卵」「鳴門わかめ」「阿波番茶」を使った調理実習を実施。 2 実践の成果 (1) クッションを制作し、定時制通信制美術作品展の手芸部門に出品することでエシカル消費を意識し、物を大事にする気持ちを養い修理・リメイクなどの発想に繋げることができた。 (2) 「オムライス」「鳥の唐揚げ」作りを通して、地域の特産品のよさを認識することができた。	 【クッション製作】  【調理実習】

実践校	徳島県立鳴門渦潮高等学校
研究テーマ	エシカル de S D G s ～身近な地域を大切にしたいエシカルの取り組み～
1 主な取組内容 (1) S D G s を学ぶ 【地域避難訓練の炊き出し】 ① 鳴門市と協働して文化祭時にフードポストを設置、食品を集めて寄付をした。 ② 地域防災避難訓練時に、耐熱袋を活用した炊き出し活動をした。非常時の持ち出し品についてリストを考え作成した「防災クリアファイル」を近隣住民に配付し、啓発につなげた。 ③ S D G s 防災への取り組みについて、鳴門市の市民活動交流イベントで発表した。 (2) 専門家から地元の産業について学ぶ 【文化祭時フードポスト活動】 S D G s や六次産業化に取り組む2つの果樹農家を訪問して見学し、工夫や課題点を学んだ。地元の若布加工業者社長や、鳴門市役所に依頼して「鳴門とS D G s」や「エシカル消費」について講演して貰って学習し、持続可能な社会の形成や地元徳島について理解を深めた。 【果樹農家エシカル見学ツアー】 2 実践の成果 地元農家や行政からのS D G s の学び、炊き出しでの地元の住民との交流など、直接地域や専門家の方々から学びをもとに、環境問題や震災の想定など、地域や自分たちの生活について考える機会となった。講演会後には多くの生徒が熱心に質問するなど自分事としての学びとなった。活動内容を本校ホームページに掲載し今後の地域活動や研究活動につなげていきたい。	  

実践校	徳島県立板野高等学校
研究テーマ	道の駅いたの、らーんずita農のみなさんと、板野町の魅力と課題発見・発信プロジェクト
1 主な取組内容 (1) 地域の方々の講演会やフィールドワークを通して、板野町には魅力がたくさんあることを知った。それらをリール動画やMAP、ポスターを作成し発信した。 (2) 道の駅いたのでのイベントに参加させてもらい、スタンプラリーのお手伝いやエシカル消費に関する演劇パフォーマンスを行った。  【演劇（エシカルマン）】  【スタンプラリー】  【フィールドワーク】 2 実践の成果 活動前は自分たちの住んでいる地域にも関わらず、何が有名で何が魅力なのか分かっていない生徒が多かった。活動を通してそれらを知ることによって、自分たちが住んでいる地域を誇りに思い、自分たちがその良さを守り、他の人に伝えていかなければならないという自覚が芽生え、自分事として捉える生徒が増えた。	

実践校	徳島県立名西高等学校
研究テーマ	地域の一員としてできること ― 繋がろう町と 広めようエシカル消費 ―
1 主な取組内容 (1) 2年生は「総合的な探究の時間」に、1年の学びで見つけたエシカル消費推進のテーマ「探究のタネ」を班で深め成果を発表した。その過程で地元企業やエシカル消費推進の実践者にインタビューしたり実験に挑戦したりする等、体験や試行錯誤を重ねた。中間発表会や最終の藤波発表会では、地域でエシカル消費を推進する方から講評やアドバイスをいただいた。 (2) 地元石井町で定期的に行われる「エシカルこども食堂」にボランティアとしてたくさんの生徒が参加している。その主催者との共催で、12月に自校で2回目となる「名高こども食堂」を実施した。本年度は、こども食堂支援団体からの食材に加え、近隣の商店に趣旨を説明して野菜や肉を提供していただき、エシカル消費推進を地元に応えることができた。 2 実践の成果 エシカル消費の探究やボランティア活動を通じて、すでに地域で実践している方々と出会い、生徒は敬意を抱き目標としている。また、それらの方々の温かい励ましや期待が、生徒の活動の原動力となっている。  2年生 藤波発表会  名高こども食堂	

実践校	徳島県立名西高等学校 定時制課程	
研究テーマ	地産地消～身近な作物の生育と食育～	
1 主な取組内容 (1) エシカル農業&調理 ミニトマトやサツマイモ、ジャガイモ、藍の栽培、収穫に取り組み、調理を行った。  【地産地消の料理講習会】 【じゃがいも収穫の様子】 (2) 藍染め体験 自分たちで育てた藍を染料にし、Tシャツの藍染め体験を行った。Tシャツは第52回徳島県高等学校定時制通信制教育連盟美術作品展に出品した。  【藍染めの様子】 【藍染め発表会の様子】		
2 実践の成果 エシカル農業やエシカル調理、藍染め体験を通して、食材の調理に関する知識や技術の習得だけでなく、「地産地消」や「エシカル消費」に関する基本的な意識の向上にもつながった。		

実践校	徳島県立吉野川高等学校	
研究テーマ	生産履歴の見える化で、届け安心安全！スマ農プロジェクト	
1 主な取組内容		
(1) 農作物生産工程が見える化		
学習系端末を使用し、本校の売れ筋農作物の 1 つである温室トマトの栽培履歴を専用アプリを使い記録を行った。1 作目は4月から9月、2 作目は9月から1月までの管理作業や農薬、肥料を随時記録し データ化したものを学校HPへアップロードし2次元バーコードで読み取れるようにした。		【収穫祭での様子】 
(2) 見える化した農産物の販売		
11月に3回、12月に1回行われた鴨島町にぎわいづくりでの販売実習や11月30日(土)本校土成農場で行われた収穫祭で2次元バーコードシールを貼ったトマトの販売と、廃棄わかめ再利用肥料を使ったトマト栽培の取組パネルの展示を行いエシカルに関する啓発を行った。		【トマト栽培実習】 
2 実践の成果		
ワカメ資材には、保水率を向上させる効果がある。これにより、水耕トマト栽培のような水を多く必要とする栽培形態において生育の安定化と高品質化を証明できた。マグネシウムとカリウムの肥料成分も含まれているため、近年高騰する肥料の代替品として地域に貢献することができると判明した。現在生徒たちは本格的にワカメ資材を用いたトマト水耕栽培に取り組んでいる。そして、グローバルGAP取得農場でも導入されている、生産工程管理アプリを使い、本校の農場生産物の生産履歴の見える化を図りスマート農業（スマ農）を実施している。また、栽培履歴の見える2次元コードを農産物に貼り、適切な管理体制で生産された農場生産物であることを地域に向けて発信し、安全で安心な農産物の生産および購入がエシカル消費につながることを啓発することができた。生徒たちは、作る側の責任を十分理解し消費者や生産者にとって安全な生産工程管理を行うことがエシカル消費につながることを取組を通して十分に理解することができた。		

実践校	徳島県立川島高等学校
研究テーマ	持続可能な食文化を支えるために、わたしたちにできること
1 主な取組内容 ・ 桑についての理解を深めるため、桑の実の収穫や、ジャム作りを行った。また、ヴォルティススタジアム学園祭などで、ジェラートや桑の葉茶を販売し、桑の魅力を広める広報活動にも取り組んだ。 ・ SDGs の観点から、桑の葉の活用に関する研究を開始した。 【ヴォルティススタジアム学園祭】 ・ 地域の伝統的な食文化について、吉野川市のヘルスメイトや栄養士と連携した実習を実施した。 ・ 地域の子ども食堂のボランティア活動で自分にできることを見つけ、地域の人々と協働した。 【桑の葉スイーツ作り】 2 実践の成果 ・ 地域の人々から教えていただきながら、協働する喜びや、地域資源の活用や食文化の継承、持続可能な社会への貢献について学ぶことができた。 ・ 桑の葉活用については、SDGs の観点からさらにその可能性を探究したい。	



実践校	徳島県立阿波高等学校
研究テーマ	ACTION! 今、私たちにできること 持続可能な社会を目指したライフスタイルを考え、実践し、伝え合う。
1 主な取組内容 (1) 「環境への配慮」～「エコたわし」の製作～ アクリル毛糸の微細構造により、洗剤が不要となる「エコたわし」を製作し、学校祭の時、希望者に持ち帰ってもらいました。 (2) 「地域」への配慮～「阿波高オリジナル携帯 my トイレ」の製作～ 能登半島地震で、トイレ問題が切実であることを知りました。そこで地元企業と連携して「阿波高校オリジナル携帯 my トイレ」を製作し、学校祭の時、希望者に配布しました。    【携帯 my トイレの製作】 【阿波高オリジナル携帯 my トイレ】 【エコたわしの製作】 2 実践の成果 「エコたわし」や「携帯トイレ」を製作し、地域の人々に配布することで、持続可能な消費や環境保全、防災について、身近なところから考えを深め、実生活で実践していく視点や方法を身につけはじめました。	

実践校	徳島県立阿波西高等学校
研究テーマ	地域と共にエシカル消費
1 主な取組内容 (1)「エシカル消費自主宣言」企業の担当者による講演会の実施 (2)「エシカル消費」の理解・啓発に向けた取組 ①阿波西食育展にて地域食材のPR活動、地産地消レシピの配布 ②再生紙を利用したエシカル消費啓発ノートの作成	
  	
【エシカル消費講演会】 【食育展】 【啓発ノート作成】	
2 実践の成果 講演会での学びや地産地消、フードロス削減について研究することにより、自分たちの日常生活を見直し、エシカル消費の視点で主体的に行動しようとする実践力が身に付いた。	

実践校	徳島県立穴吹高等学校
研究テーマ	地域の人々と共に歩む
1 主な取組内容 測名の傾斜地での茶畑の手入れに参加したり、そばを種から育てたりするなど、フィールドワークを行った。また、産直市のポスターを製作したり、ボランティアとして参加し、地元の人々と交流を深めた。 他にも、穴吹駅のベンチに、回収し補修した座布団を設置した。	
  	
【茶摘み】 【そば打ち体験】 【穴吹駅に座布団設置】	
2 実践の成果 (1)茶摘みやそばの播種・刈取り、地域の産物にふれ、生徒の地産地消と持続可能な循環型社会への関心が高まった。 (2)産直市のボランティアなどを通して、主体的に行動する力を身につけた。ボランティアには卒業生も参加し、卒業後も地元とのつながりを大切にする者もいた。	

実践校	徳島県立脇町高等学校
研究テーマ	学ぼう・やってみようエシカル生活
1 主な取組内容 (1) エシカル料理講習会 「地産地消」をテーマに、地元での農業を通して、地域の活性化に貢献している竹中さん夫妻を招き、地元での農業についての講演と育てた小麦を使ったクレープの実演をしていただきました。 (2) みんなで作ろう！みんなで集めよう！【子ども支援バッグ】 人権講演会で＜貧困と共に生きる子どもたち＞の現状を聞き、生徒から「子ども支援バッグプログラムに協力したい」との声があがり、JRC部と共同でバッグ作りと支援品を集める活動を行いました。     【子ども支援バッグ】 【エシカル料理講習会】 2 実践の成果 生徒から活動内容の案が出てきたことは、主体的に学ぼうとする意識や何か自分たちに出来ることはないかと考える態度が身についてきていると考えられます。活動を続けていくことで、学んだことを活かし、考え行動できる生徒を育てていきます。	

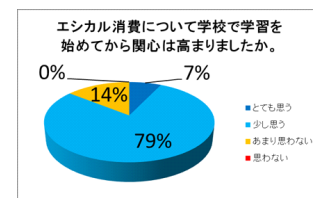
実践校	徳島県立つるぎ高等学校
研究テーマ	地産地消と地域との関わり
1 主な取組内容 地域の特産物を使ったレシピの研究と普及 地元で生産されている、はだか麦、ふしめん、青とうがらしなどを使って、お菓子や調理ソースなどを試作した。レシピをチラシにまとめ、J R観光列車の利用者に配布して、にし阿波の美味しい魅力を発信した。    【特産物を使った調理】 【みまからバーガー&ふしめんフライ】 【レシピの配布活動】 2 実践の成果 高校生の視点から地域の特産物の活用方法を考案し、地産地消の可能性を広げるアイデアを普及することができた。にし阿波地域で生産される「雑穀」が世界農業遺産に認定されるなど、地元の資源に存在する価値に誇りを感じている。地産地消を心がけた消費行動が、持続可能なまちづくりにつながることを今後も学んでいきたい。	

実践校	徳島県立池田高等学校
研究テーマ	傾斜地集落における生活実態調査の実践
1 主な取組内容 三好地域には山の斜面に200以上の集落が点在している。この集落は四国を代表する景観の一つとなっており、この景観を守り活かすための一つの方法として三好ジオパークが認定された。 生徒は西祖谷山村今久保集落を訪れ、傾斜農地が想像以上に急勾配であること、山の水を使って生活していることに驚嘆し、三好市内外の傾斜地集落の特徴を比較すべく調査を開始した。 生徒は、三好市西祖谷山村・東祖谷、東みよし町西庄・東山、愛媛県四国中央市新宮町、高知県長岡郡大豊町の傾斜地集落を訪問し、聴き取り調査を実施した。	
2 実践の成果 各地の地質、災害対策、主要な農作物を調査し、現在一覧表にまとめている。 これまでに取り組まれたことのない研究であり、生徒はまとめ方に苦労しているが、調査活動を通して傾斜地集落の価値に気づきつつある。傾斜地集落の特徴を価値として認識することが、傾斜地集落存続につながると考えられる。	



【傾斜地集落調査】

実践校	徳島県立池田高等学校 定時制課程
研究テーマ	選ぶチカラで未来を変える ～エシカル消費のススメ～
1 主な取組内容 ○大学、その他関係機関の専門家と連携し、エシカル消費や持続可能な社会の実現に向けた選択的消費等、ICTを活用した学習会。 ○エシカル消費や自然環境問題等に関係する探究活動と、その成果を共有して理解を深めるための学習研究発表会や地域での学習展。 ○本校の伝統である、専門家を招聘した全校生徒による美術作品制作（廃材や使わない古着の再利用やエシカル消費の啓発に関する作品）。 ○節電・節水啓発用のうちわづくり、自治体の廃食用油再生支援（廃油を再生して燃料化）で集めた廃油の一部を活用したロウソクづくり。	
2 実践の成果 学校でエシカル消費に関する学習を始めてから関心が高まったと答える生徒が86%（昨年度85%）と数値は上昇し、学習展の地域や保護者等からの評価も高かった。エシカル消費を実践するようになったと答える生徒も84%（昨年度77%）と数値が上昇した。今後も、地域や家庭と連携を図りながら倫理的な消費行動を継続的に実践し、今後もエシカル消費の環を少しでも広げ、生徒に持続可能な社会を形成する意欲や態度を育成する。	



実践校	徳島県立池田高等学校 辻校
研究テーマ	MOTTAINAI → MINNADE → MIRAIE 行動する辻校エシカルクラブ！！
1 主な取組内容 (公社) 日本アロマ環境協会認定アロマセラピーインストラクターアロマセラピスト薬膳インストラクターの寺尾和代先生のご指導のもと、日本みつばちのミツロウキャンドルの製作に取り組んだ。三好市井川町で養蜂業を営む森さんの養蜂場を見学し、ミツロウの説明を受け、普段の生活や災害時にも役立つものを作り上げることができた。      【作業風景】 【はちマス】 【66℃で溶かす】 【瓶や型に投入】 【完成品を持って】 2 実践の成果 毎年、地元産のものに目をつけ活動をしている。今年度は、実際に町内の養蜂場に出向き、体験や説明を受けたことでエシカルクラブの活動の重要性をクラブ員に感じ取ってもらうことができた。また、貴重な日本みつばちのミツロウを心をこめて生活に役立つグッズに作り替えることができ、来年への活動意欲を高めることができた。	

実践校	徳島県立池田高等学校 三好校
研究テーマ	農林業教育から発信！エシカル消費
1 主な取組内容 (1) 森林保全「スギ苗木の植栽」 持続可能な森林資源の活用をめざし、伐採後の学校演習林にて植林実習を実施した。適切な管理が元気な森づくりにつながり、水源かん養や生物多様性などの公益的機能が発揮できることについて学ぶことができた。 (2) ジビエから地産地消「猪ハムの製造と販売」 狩猟された野生動物の食肉加工を実施し、地元企業と連携したジビエ商品を開発、地元イベントにて販売した。獣害対策やジビエからエシカル消費を広くPRすることができた。     【コンテナ苗の植林】 【ジビエ肉の加工と販売】 2 実践の成果 専門教育をとおして、地元地域との交流が促進され、地産地消をはじめとするエシカル消費の実践と啓発につなげることができた。自ら学んだ学習成果の発信は、生徒の自己肯定感を高めるよい機会となった。	

実践校	徳島市立高等学校
研究テーマ	TryAction ～考えよう！未来のちょっといい暮らし～
1 主な取組内容 (1) フェアトレードのコーヒーの販売 とくしまマルシェやオーガニックエコフェスタなどで、和三盆や阿波晩茶のドーナツなどと一緒に、マラウイ産のフェアトレードのコーヒーを販売した。コーヒーの売り上げはせいぼジャパンを通じてマラウイの給食支援のために全額寄付をしている。 (2) ワンプ紙を再利用しバックの制作 職員室に捨てられていたコピー用紙の包み紙であるワンプ紙を利用し、バッグを作成した。マスキングテープやリボンなどで装飾し、エコバッグとして利用できる。今後高齢者施設や児童館などで配布予定。 2 実践の成果 多岐にわたる活動の中で、生徒たちもエシカル消費に向けての意識変容へとつながった。今後も生徒たちのアイデアを集約させて発展的な活動へとつなげていきたい。	
	

とくしま・エシカル高校生委員会

「とくしま・エシカル高校生委員会」は、各校の「エシカルクラブ」から意欲ある生徒が集まり、県全域をフィールドに、エシカル消費の推進に向けて活動することを目的に令和3年度に結成されました。

今年度は、5校19名の生徒が委員会を組織し、研修や県内外の高校生との交流を通して、エシカル消費について学びを深めるとともに、県内高校の取組を全国に発信しました。

○委員会活動

【加渡いづみ先生による講義】



【県内高校生との交流】



○「エシカル甲子園2024」に参加

大会サブテーマ「みんなで掲げる、未来へつなげるエシカル思考」は高校生委員会で決定しました。

当日は大会の運営に携わり、スムーズな進行に貢献しました。

大会午後は、エシカル甲子園参加校生徒と委員会メンバーによる意見交換会が開催されました。「地域で『エシカル消費』を広げていくにはどうすればよいか」をテーマに、有意義な意見交換ができました。意見交換会では城西高校の「エシカルクッキー」を紹介しました。

